

議長選は三つ巴、渡邊議員が当選

市議選後初の議会が20日に行われました。ここでは議長、副議長、常任委員、特別委員などを決めました。

このうち議長選では、平良木哲也議員（日本共産党議員団）、渡邊隆議員（久比岐野）、石田裕一議員（みらい）の3議員が立候補しました。

所信表明演説で、平良木議員は、「議会モニター制度の復活を含めて、市民意見を常に活かせる仕組みをつくる」「通年議会を実施し、あらゆる事態に機敏に対応できるようにする」などとのべ、支持を訴えました。

渡邊議員は、「上越市議会先輩方の築かれた歴史、習慣・風習などをこれからも大切に堅持しつつ、時代の変革、多様性に応えていく」「質疑、質問の形骸化があるが、内容を充実させ、市政に対する問題提起の機能を強化し、議会が十分に市政を監視できるように検討して参りたい」とのべました。



石田議員は、「オンライン議会と、議員定数、報酬の検討についても、皆様と議論をしていきたい」「議員が働きやすい環境整備を努めていきたい」などと訴えました。

その後、投票が行われ、渡邊議員が17票を獲得、石田議員は9票、平良木議員は5票で、渡邊議員が当選しました。無効票は1でした。渡邊議員は当選後、「議員の皆さんの意見を聴きながら、難しい大きな課題に向かっていく。強く、そしてしなやかさをもった議会にしていきたい」と挨拶しました。今後の動きに注目です。

副議長選挙は、近藤彰治議員（市民クラブ）と山田忠晴議員（公明党）が立候補し、近藤議員が20票、山田議員が12票を獲得、近藤議員が当選しました。

臨時議会では、各種委員会の所属、正副委員長などを決めました。私は、これまでと同じく、総務常任委員会、災害対策特別委員会所属ですが、災害対策特別委員会の委員長を務めます。

このほか、上越地域消防組合議員、議会選出監査委員なども決めました。私は前にもやっていた消防組合議員になりました。



コウノトリのヒナ、4羽いました。21日に撮影したものです。

柏崎市の女性グループと交流

柏崎の女性グループのみなさんが日帰り旅行で吉川区のスカイトピア遊ランドをまたまた運んでくださいました。数年前、同グループが来られた際、私が野の花の案内をして以来、交流が続いています。今回はコウノトリのことが大きな話題となりました。



校外学習で農具を学ぶ

先日、地元の吉川小学校の児童が農具などを学ぶ校外学習を目にしました。説明役は吉川区下町の五十嵐一也さんです。

児童にとっては、初めて見るものが多く、新鮮だったようです。五十嵐さんの鋤（くわ）や一斗枧などの説明を興味深く聞いていました。



【ノイバラ】バラ科の落葉性のつる性低木。漢字で「野茨」と書きます。日本の代表的なノバラ。市内のどこにもあります。枝には鋭いとげがありますので、素手ではつかまなないように。花期は4月～6月。白い花を咲かせますが、いまが盛りです。花言葉は、「素朴なかわいらしさ」「上品な美しさ」。写真は5月22日、吉川区代石で撮影しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.2157 2024.5.26
 発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
 URL <https://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

議長選は三つ巴、渡邊議員が当選

市議選後初の議会が20日に行われました。ここでは議長、副議長、常任委員、特別委員などを決めました。

このうち議長選では、平良木哲也議員（日本共産党議員団）、渡邊隆議員（久比岐野）、石田裕一議員（みらい）の3議員が立候補しました。

所信表明演説で、平良木議員は、「議会モニター制度の復活を含めて、市民意見を常に活かせる仕組みをつくる」「通年議会を実施し、あらゆる事態に機敏に対応できるようにする」などとのべ、支持を訴えました。

渡邊議員は、「上越市議会先輩方の築かれた歴史、習慣・風習などをこれからも大切に堅持しつつ、時代の変革、多様性に応えていく」「質疑、質問の形骸化があるが、内容を充実させ、市政に対する問題提起の機能を強化し、議会が十分に市政を監視できるように検討して参りたい」とのべました。



石田議員は、「オンライン議会と、議員定数、報酬の検討についても、皆様と議論をしていきたい」「議員が働きやすい環境整備を努めていきたい」などと訴えました。

その後、投票が行われ、渡邊議員が17票を獲得、石田議員は9票、平良木議員は5票で、渡邊議員が当選しました。無効票は1でした。渡邊議員は当選後、「議員の皆さんの意見を聴きながら、難しい大きな課題に向かっていく。強く、そしてしなやかさももった議会にしていきたい」と挨拶しました。今後の動きに注目です。

副議長選挙は、近藤彰治議員（市民クラブ）と山田忠晴議員（公明党）が立候補し、近藤議員が20票、山田議員が12票を獲得、近藤議員が当選しました。

今議会では、各種委員会の所属、正副委員長などを決めました。私は、これまでと同じく、総務常任委員会、災害対策特別委員会所属ですが、災害対策特別委員会の委員長を務めます。



コウノトリのヒナは4羽いることがわかりました。写真は21日、私が撮影しました。



【ノイバラ】バラ科の落葉性のつる性低木。漢字で「野茨」と書きます。日本の代表的なノバラ。市内のどこにもあります。枝には鋭いとげがありますので、素手ではつかまなないように。花期は4月～6月。白い花を咲かせます。いまが盛りです。花言葉は、「素朴なかわいらしさ」「上品な美しさ」。写真は5月22日、吉川区代石にて撮影しました。

このほか、上越地域消防組合議員、議会選出監査委員なども決めました。私は前にもやっていた消防組合議員になりました。

左の表は各種委員会委員名簿です。敬称略。

委員会名	委員長	副委員長	委員
議会運営委員会	小林和孝	宮崎朋子	平良木哲也、飯塚義隆、高橋浩輔、高山ゆう子、西沢智子、橋本洋一
常任委員会	総務	高山ゆう子	橋爪法一、こんどう彰治、櫻庭節子、滝澤陽一、宮越馨、渡邊隆
	厚生	高橋浩輔	江口修一、熊倉隆将、ストラットン恵美子、西沢智子、丸山章、宮崎朋子
	農政建設	滝沢一成	飯塚義隆、草間和幸、小林和孝、関川信之、本城文夫、牧井邦生
	文教経済	安田佳世	石田裕一、伊崎博幸、大島美香、平原留美、降旗太地、山本佳洋
特別委員会	災害対策	橋爪法一	飯塚義隆、石田裕一、草間和幸、高山ゆう子、宮崎朋子、山田忠晴
	人口減少社会対策	本城文夫	平良木哲也、伊崎博幸、熊倉隆将、橋本洋一、牧井邦生、渡邊隆
	観光振興対策	宮越馨	大島美香、こんどう彰治、高橋浩輔、滝沢一成、丸山章、安田佳世
広報広聴委員会	ストラットン恵美子	櫻庭節子	上野公悦、小林和孝、関川信之、西沢智子、降旗太地、山本佳洋

はしづめ法一の活動レポート

No.2157 2024.5.26

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第八〇四回

鐘楼の中から

忙しくてあまりの発信できませんでしたが、市議選の最中に心を揺さぶられた出来事がいくつもありません。今回はそのいくつかを書き留めておきたいと思えます。

四月一八日、牧区原でのことです。街頭演説が終わって五〇分ほど車を走らせたときでした。「がんばって」の音がはつきりと聞こえたので、車を降りて人の姿を探しました。でも姿は見えません。「どこにいなるんだろいね」と言いながら、あたりをぐるりと見渡すと、何とそばの鐘楼の中に男女二人の姿を確認できました。

この鐘楼のある明願寺は、全国で最初に有線放送を始めたことで有名で、十数年前、私は全国家族新聞交流会のみなさんとともに訪れたことがあります。でもその際、鐘楼には入りませんでした。「上からしてもらっていいですか」と二階におられた二人にお願いすると、「どうぞ」と言われました。二人の方は初対面でしたが、私がお寺のことについてエッセイに書いたこともご存じでした。そしてこの人たちは「激励の鐘だ」と言ってゴーンとやってくださったのです。感激でした。

二つ目。選挙戦では、人の姿が見えないものの、どこかで聴いてくださる方があるかも知れない、そう思って演説することが何回もありました。その思い出です。

投票日の前々日の夕方、宣伝カーは柿崎区の黒岩地内を走っていました。黄砂の影響だったので、その日は夕日の色が白く、お月様のような感じになっていました。夕日の周りは黄金色です。こんな夕日になることもあるのかと思うほど美しいものでした。

お店だった橋本屋さんのところから南黒岩へと上がる途中で、車を降りて、マイクを握りました。ここなら、北黒岩に住む人たちにも聞こえるかもしれない、そう思ったのです。ただ、これまでの経験から、演

説すると必ずごだますことがわかっていたので、「みなさん、橋爪法一です。いよいよ、明後日が、投票日です」といった風に短く区切って、演説しました。

薄暗くなっていましたので、演説中に有権者の姿は確認できませんでした。でも、なぜか感じたんです。ピピッときたんです。声は遠くの集落に間違いなく届いている。何人かの人たちに私の思い、訴えが伝わっている、と。

吉川区川谷での演説でも同じような体験をしました。演説した場所は二年前の三月に大規模な地滑りが発生した県道です。下川谷側から上川谷に接近した場合、宣伝カーはこの地滑り現場までしか行けません。約三〇〇メートル離れた上川谷の家々に向かって、ポリウムを上げ、その場所から地滑り現場の早期復旧への決意などをのべました。上川谷には現在、二世帯三人が住んでいます。その三人の顔を思い浮かべながら訴えました。ここでも聴いている人のリアクションはありませんでしたが、伝わったなと思いました。

最後は市議選最終日でのことです。大島区の一帯南側にある菅蒲の田中屋さんの近くの作業所で何かをしている五、六人の人たちと出会いました。握手をしようと思えばまで行くと、そのなかに背の高い男性に抱っこされている生後一か月の赤ちゃんがいました。とても小さく、ほっぺがかわい。さわりたくなりました。いったいどこかの赤ちゃんだろうかと思いつつ、菅蒲西へ行ったとき、Kさんに「赤ちゃんはどこの子ね」と尋ねたところ、何と近くの念宗寺の若夫婦の子どもさんだったのです。

山間部の奥まった集落に赤ちゃんがいる。それは希望です。車の中から念宗寺の方を見たら、鯉のぼりがひらひらと揺れています。今年初めて見た鯉のぼり、とても素敵に見えました。

津波避難などで要望・意見相次ぐ

上越市主催の「能登半島地震に伴う地域住民との意見交換会」に22日、参加してきました。今回の対象地区は五智地区でした。30人ほどの方たちが参加されていました。

市から、①今回の地震被害・対応状況及び津波からの住民避難の在り方、②1月に実施した実態調査アンケートなどについて報告がありました。

意見交換会では、参加住民から、「避難対象地域ではないが車で半分くらいの方が逃げた。ハザードマップを配るだけでなく、逃げないでいいという周知をしてほしい」「三ノ輪台への避難は斎場から1つ目のカーブで駐車した車があり、渋滞となった。看板を設置してもらいたい」「本当に避難しない方がいいのか。想定を超えることはないのか」「三ノ輪台はロープが張られていて、トイレも



使えない。もっと活用した方がいいのではないか」「避難所はガラスを割って入ってもいいのか」「避難所で、の備蓄品の量は十分か」などの声が出ていました。

市の担当者は、「(避難しない方がいい地域については)町内会で行われる訓練などに積極的に出向き、説明していく」「津波被害は最悪のシュミレーションがされている。想定外を無くすための想定だ」「ガラスを割るのはあくまで緊急の場合のみだ」などと答えました。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	5月15日(水)	5月22日(水)
上越南消防署	0.053	0.057
上越北消防署	0.040	0.050
新井消防署	0.040	0.050
頸北消防署	0.053	0.053
頸南消防署	0.070	0.057
東頸消防署	0.040	0.040
名立分遣所	0.057	0.060
高士分遣所	0.050	0.053